

セメント系無収縮混和材

混和材タイプ

太平洋
U-ロックス®



「太平洋ユーロックス」は石灰系膨張材「太平洋エクспан」を基材として開発したセメント系高性能無収縮混和材です。生コン工場や現場にてポルトランドセメント、細骨材、水と混合することで優れた性状・特性の無収縮モルタルが得られます。

特長

1 混和材型

レディミクストコンクリートプラントで既定のベースモルタル（ポルトランドセメント＋細骨材＋水）製造時に混和するだけで無収縮モルタルが得られます。

2 高流動性

普通モルタルに比べ、優れた流動性を発揮しますので、間隙をスムーズに充てんすることができ、作業性・成型性に優れます。

3 無収縮性

ノンブリーディングであり、かつ適量配合された石灰系膨張材の作用により、拘束条件下で無収縮性が発揮されます。

4 早強性・高強度

初期強度が高く早強性を有するとともに、長期的にも安定した強度発現性が得られます。

5 経済性

一般的なプレミックスタイプの無収縮モルタルに比べて、大量打設をする場合は経済的です。

6 耐熱性・耐海水性

石灰系膨張材の水和生成物は安定しており、優れた耐熱性・耐海水性を示し、比較的高温雰囲気となる箇所や海岸等の特殊構造物への施工が可能です。



20kg / 箱 (箱 : 4kg / 袋 × 5 袋)



荷姿

製品名	規格・仕様
太平洋ユーロックス	混和材型

(社)公共建築協会(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」において無収縮モルタルとして求められる品質・性能を満足すると評価されました。

標準調(配)合

区分 (セメント:砂比)	練上り温度範囲 (°C)	コンシステンシー目標値(どちらか一方を実施)		単位量 (kg/m ³)				現場計量 (kg)				練上り量 (ℓ)
		J ₁₄ 漏斗流下値(秒)	JISR5201 引抜フロー(mm)	セメント	太平洋ユーロックス	砂	練混ぜ水量	セメント	太平洋ユーロックス	砂	練混ぜ水量	
1:1 モルタル	5~35	8±3	240±40	862	80	942	318	25(1袋)	2.3	27.5	9.3	約29
1:1.5 モルタル				699	75	1,161	286	25(1袋)	2.7	41.5	10.2	約35
1:2 モルタル				588	70	1,316	263	25(1袋)	3	56	11.2	約42
セメントペースト		3~7 程度		1,417	95	—	499	25(1袋)	1.7	—	8.8	約17

注1 セメント(密度:3.16g/cm³)、砂(表乾密度2.60g/cm³、粗粒率:2.70)で計算。使用するセメントや骨材により配(調)合は変動しますので、事前に試し練りを行って配合をご確認ください。

注2 使用するセメントは普通または早強ポルトランドセメントとし、高炉およびフライアッシュセメント等は使用しないでください。

なお、早強ポルトランドセメントを使用する場合、普通ポルトランドセメントを使用した場合と比べて、同一コンシステンシーを得るためのW/C+ユーロックスが約2%増加する傾向にあります。

注3 1:2モルタルは使用する砂の種類によってJ₁₄漏斗が詰まりやすくなるため、引抜フローでの試験を推奨いたします。

注4 粗骨材が混入する恐れがある場合は5mmの篩等を使用して粗骨材を取除いてからコンシステンシー試験を行ってください。

摘要範囲

- ・コンクリート構造物間や鋼製構造物等との接合部や隙間への間詰め充填で一度に大量打設を行う場合
- ・現場で配合を決めて打設を行う場合

☆公共建築協会(無収縮グラウト材)規格適合品

特性例

ユーロックス 20kg / 袋・箱		区分				試験方法
		1:1 モルタル	1:1.5モルタル	1:2 モルタル	セメントペースト	
W/C+UL (%)		34.0	37.0	40.0	33.0	
コンシステンシー	J ₁₄ 漏斗流下時間 (秒)	7.5	8.1	9.2	4.0	JSCE-F 541 に準拠
	テーブルフロー (mm)	230	223	215		JIS R 5201 に準拠
ブリーディング率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	JIS A 1123 に準拠
圧縮強度 (N/mm ²)	1日	12.1	7.7	6.4	20.3	JIS A 1108 に準拠
	3日	36.9	30.2	28.8	43.1	
	7日	45.3	40.2	36.2	56.8	
	28日	62.3	53.1	51.7	67.7	
	社内規格値 (材齢: 28日)	45.0 以上				
膨張収縮率 (%)		+0.24				JSCE-F 542 に準拠

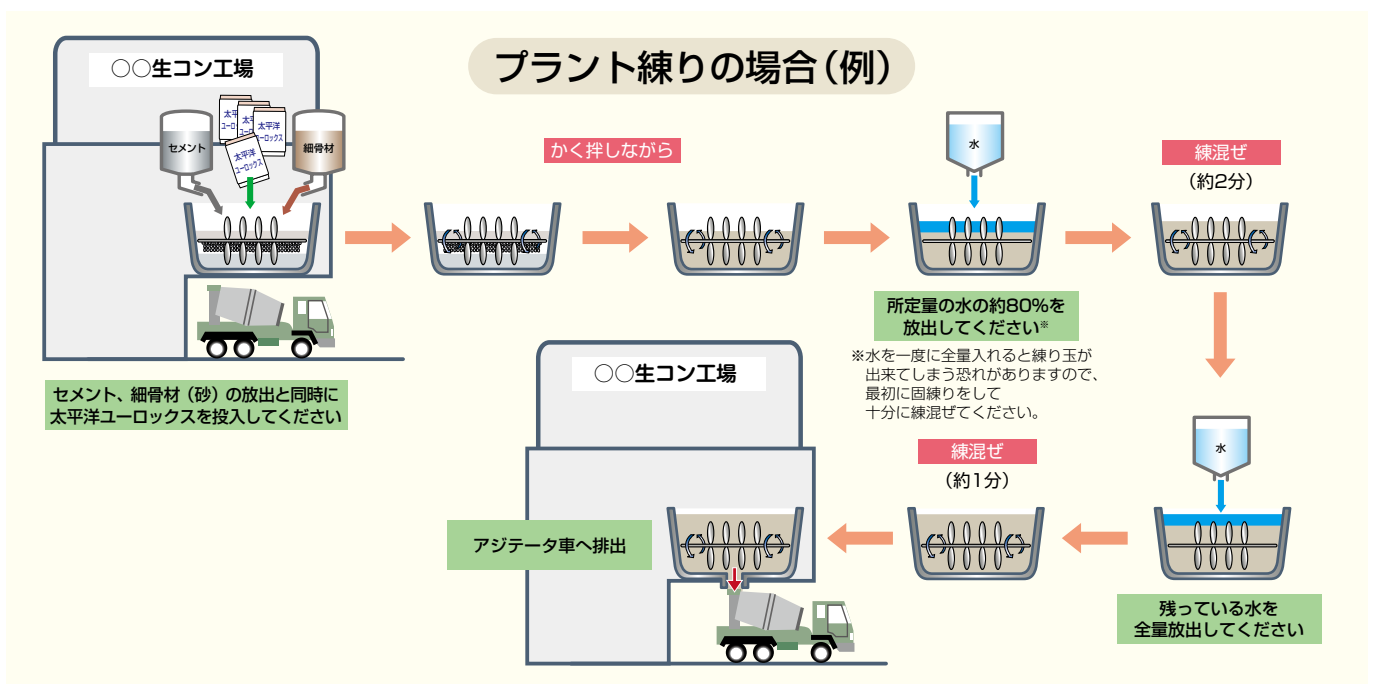
◎本表に記載の数値については、実験に基づく物性値です。

◎練混ぜ水量は、気温・練混ぜ水温・材料温度等の影響により若干変動します。

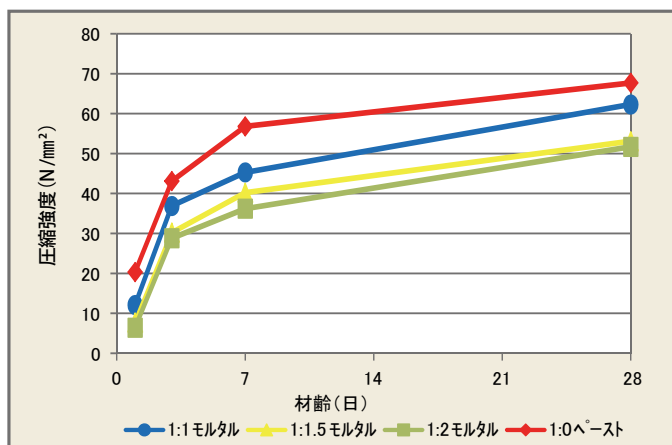
◎本表に記載の養生温度は、環境温度、練混ぜ水の水温、材料の温度を全て同温度条件にしています。

◎圧縮強度に記載しております社内規格値は、1:1 モルタルの 20℃環境下での本製品の社内規格値を示したものです。使用するセメントや骨材、配(調)合により強度は変わりますので、試し練りでご確認ください。

使用方法



材齢と圧縮強度の関係 (JIS A 1108 に準ずる)



アジテータ車からの排出状況



使用方法

下地処理

目荒らし

モルタルの接地面については目荒らしを行い、目荒らし等の処置が不可の場合は、レイタンス等の除去を行ってください。

水濡し又は吸水調整材塗布

モルタルの接地面については水濡しを行ってください。接地面の乾燥が著しい場合や打設までに時間を要する場合は、吸水調整材（エフェクト A）の塗布を推奨します。

練混ぜ

練混ぜ水

練混ぜ水は、有機不純物等を含まない清水としてください。

配合

配合は、カタログ記載の配合を参考にして、コンシステンシー（J₁₄ 漏斗試験またはフロー試験）規格値範囲内となる水量としてください。外気温度、水溫、使用機械、その他環境等により、目標とするコンシステンシーを得るための水量は変動します。このため、使用に際しては事前に試し練りを実施し適正な配合を確認してください。規定コンシステンシーの範囲を外れた配合で使用しないでください。

練上り温度

練上り温度は、5～35℃の範囲になるようにしてください。

暑中対策

夏場の高温環境下での施工においては、材料を直射日光の当たらない場所に保管すると共に、環境に応じてあらかじめ冷却した練混ぜ水を使用し、練混ぜ温度が35℃以下となるようにしてください。

寒中対策

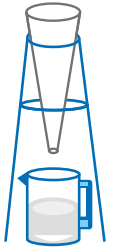
冬場の低温環境下での施工においては、材料を屋内やシート養生により保管し、環境に応じてあらかじめ温めた練混ぜ水を使用し、練混ぜ温度が5℃以上となるようにしてください。

①現場練り：練混ぜは機械練りで、計量した水の中にセメントと混和材を投入し、最後に砂を入れ、参考練混ぜ時間（90秒～120秒）を目安に均一に練り混ぜてください。アルミ製羽根のミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が摩耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。練混ぜは800回転以上の高速ミキサーを使用してください。回転の遅いミキサーを使用して練り混ぜた場合、均一に混ざらない虞があります。

②プラント練り：材料の投入はミキサーに直接投入することを原則とし、所定の混和材投入口から投入してください。投入はセメント、骨材の放出と同時に投入することを原則としてください。通常のモルタルよりも流動性があり、練り玉がでやすいため、水は2回に分けて放出してください。詳細な練混ぜ方法は別紙資料や弊社へお問い合わせください。また、超高強度コンクリート（100N以上）を交互に練る場合は不具合が生じるおそれがありますのでご相談ください。

施工時の品質管理試験はコンシステンシー（J₁₄ 漏斗試験または引抜フロー試験）測定を行ってください。また、必要に応じて圧縮強度測定用に供試体（φ50mm H:100mm）の採取を行ってください。圧縮強度用供試体を作製する場合、成型後直ちに上面をラップ等で密封し、水分の蒸発を防ぐようにしてください。無収縮グラウト材の圧縮強度供試体の作り方は、別添リーフレット等の資料を参考にしてください。

コンシステンシーの測定



J₁₄ 漏斗試験

テーブルフロー（フローコン）

練混ぜ

品質管理試験

打設

型枠（拘束）

本製品は3面以上の拘束環境下でご使用願います。拘束条件が不十分な箇所に打設した場合、ひび割れ発生の要因となるおそれがあります。

打設

プラント練り、生コン車出荷の場合は粗骨材が混入する恐れがありますので、金網等で取り除いてください。

仕上げ

硬化後、モルタル表面が露出する箇所については、コテ押えをし、表面の仕上げ処理を行って下さい。コテ押えが不十分な場合、プラスチックひび割れ等の発生要因となる虞があります。

養生

露出面の養生

硬化後、モルタル表面が露出する箇所や弱材齢状況下で型枠の早期脱型を必要とする場合は、乾燥によるひび割れが発生する可能性がありますので、湿潤養生を行うか、塗膜養生剤（キュアキーパー）の塗布による塗膜養生又は硬化後の塗布型収縮低減剤（クラックセイバー）の塗布を推奨します。但し塗膜養生剤は仕上げ材との相性がありますので、ご使用の際は弊社までお問い合わせください。

暑中対策

夏場の高温環境下における施工では、打設箇所に直射日光が当たらないようにシート等にて養生してください。

寒中対策

冬場の低温環境下における施工で打設後に5℃以下となる場合、シートや灯光器等を用いて保温養生をしてください。

養生期間

打設完了後、モルタルが完全に硬化するまでは、衝撃、振動等を与えないようにし、露出面がある場合、露出面に風雨等が直接当たらないようにシート等にて養生してください。養生期間は、強度発現時（3日以上）を目安とします。但し、諸条件により3日以内の早期脱型を必要とする場合は、製品毎のカタログ記載物性値を参考に判断願います。

保管・廃棄 その他

保管

材料の保管には雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆ってください。また、一旦開封したものは、その日のうちに使用してください。

廃棄

本製品および施工後の洗浄水等は海・河川・下水道等への廃棄はしないでください。使用後の残材については産業廃棄物として処分してください。

その他

本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、不明な点はこちらにご相談いただけますようお願いいたします。

ロットナンバー

製品のロットナンバーは製造年月日を表し、「MMDDYY」の場合、MM：製造月（2桁） DD：製造日（2桁） Y：製造年（西暦1桁）となります。例）03095の場合は、2015年 3月9日製造となります。

安全上の注意事項



- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用ください。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼鼻皮膚及び衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上で使用してください。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いしてください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- 製品の使用にあたってはSDSを参照願います。

太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226	
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855	
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511	
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5242	
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141	
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001	
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191	
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758	
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331	
北東北営業所	☎019-908-2400 静岡営業所	☎054-685-8333 沖縄営業所	☎098-867-9663
北陸営業所	☎076-234-1670 鹿児島営業所	☎099-812-7131	

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。
- 本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。